

第 23 回 日本言語文化研究会

— 研究発表会 —

政策研究大学院大学と国際交流基金日本語国際センターは、外国人日本語教師を対象とした「日本語教育指導者養成プログラム（修士課程）」と「日本語文化研究プログラム（博士課程）」を連携して運営しています。日本語文化研究会は、その大学院の学生と教員、そして修了生を中心とした研究会です。今回の研究会では、修士課程の学生 4 名と、博士課程の学生 1 名が、これまで取り組んだ各自の研究成果を発表致します。下記の通りご案内申し上げますので、是非お越しくださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成 25 年 8 月 31 日（土）10:00～12:40（開場 9:30）

場 所：政策研究大学院大学 講義室 L

都営大江戸線六本木駅より徒歩 5 分、東京メトロ日比谷線六本木駅より徒歩 10 分、東京メトロ千代田線乃木坂駅より徒歩 6 分

* 本学へのアクセスは <http://www.grips.ac.jp/jp/about/access/> をご覧ください。

参加費：無料

申込方法：お名前と所属機関をお書きの上、下記まで Eメールまたはファックスで、お申し込み下さい。

申込締切：平成 25 年 8 月 20 日（火）（先着 100 名）

申込・問合せ先：政策研究大学院大学 日本語文化研究会事務局

担当 … 伊藤 彩 (Tel: 03-6439-6045 Fax: 03-6439-6040 E-mail: jlc-ml@grips.ac.jp)



【発表内容(予定)】

時間	学生氏名	所属機関(国籍)	研究テーマ
10:00-10:10	挨拶、趣旨説明		
10:10-10:35	Dini Budiani	リアウ大学 (インドネシア)	インドネシア人大学生に対するピア活動を取り入れた作文授業－意見文を例に－
10:35-11:00	SEVIKUL Rasa	ラジニーボン学校 (タイ)	インプット処理指導を取り入れた授業の試み－タイの高校における授受表現の指導を例に－
11:00-11:25	Saw Eaindar Nwe	ヤンゴン外国語大学 (ミャンマー)	会話授業の改善のためのコミュニケーション重視の活動－ヤンゴン外国語大学における初級クラスへの提案－
11:25-11:40	休憩(15分)		
11:40-12:05	MATELA Jiri	マサリク大学 (チェコ)	チェコの大学における日本語学習者の漢字学習ストラテジーとピリーフ研究
12:05-12:30	ALAM Mohammed Ansarul	ダッカ大学 (バングラデシュ)	日本語学習経験が来日後の生活に及ぼす影響－バングラデシュ人日本語学習者のライフストーリーインタビューから－
12:30-12:40	挨拶・閉会		

*研究テーマは変更する可能性があります。最新情報は政策研究大学院大学ホームページ(<http://www.grips.ac.jp/jp/seminars/>)をごらんください。